

科目名	クロッキー土曜クラスA
担当教員	甲斐光省
授業目的	人体の持つ構造、ボリューム感、運動感を楽しみながら、いろいろなモデルを描いてゆきます。
<b>授業内容</b>	
1 週	描いてみよう! (男のかたち・女のかたち)
2 週	大きな形をつかまえよう
3 週	プロポーションを意識してみよう
4 週	立ちポーズのなかにある「重心」について
5 週	ムーブマン(動き)について。傾けましょうか? ひねりましょうか?
6 週	40分ポーズで細部までじっくり観察
7 週	影の形とその濃さ
8 週	筋肉や関節を観察(ヒトは動く)
9 週	2人もしくは3人のモデル(コスチューム)を描いてみる
10 週	和服のヒトを描いてみる
11 週	黒い紙に白いラインで装飾的表現に挑戦
12 週	自分の選択した画材で描いてみる
評価方法 注意事項	初めての人は、試してみてください。モデルから離れて描く、鉛筆を美しく削る、柔らかいグリップで描く、姿勢を良くして描く、資料をよく読んで人体の情報を集める、そして練り消しゴムは小さめに。
初回持参物	土曜クロッキーに限り、紙は教室で購入できます。鉛筆・クリップ・カルトン・カッター・練り消しゴム

科目名	写真ワークショップ A
担当教員	三上紗智子
授業目的	撮影してきた写真から自分が今どのように世界を見ているのかを知り自身の作品へ繋げる。毎週の作業の成果を受講者同士で見あいディスカッションすることで客観的な見目、自身の頭の中にあることを言語化し伝える力を鍛える。写真の楽しさを感じてほしい。
<b>授業内容</b>	
1 週	ガイダンスと自己紹介(各自の作品紹介)
2 週	『ときめき』を撮る(1) 進行状況チェック、ディスカッション
3 週	『ときめき』を撮る(1) 進行状況チェック、ディスカッション
4 週	『ときめき』を撮る(1) 進行状況チェック、ディスカッション
5 週	『ときめき』を撮る(1) 進行状況チェック、ディスカッション
6 週	『ときめき』を撮る(1) 講評会
7 週	写真系展示観覧(観覧後必ずレポートを書き次週提出)
8 週	『ときめき』を撮る(2) / 各自のテーマ 進行状況チェック、ディスカッション
9 週	『ときめき』を撮る(2) / 各自のテーマ 進行状況チェック、ディスカッション
10 週	『ときめき』を撮る(2) / 各自のテーマ 進行状況チェック、ディスカッション
11 週	『ときめき』を撮る(2) / 各自のテーマ 進行状況チェック、ディスカッション
12 週	講評会
評価方法 注意事項	写真のデジタル、アナログ等の分野は自由です。出席率、授業態度、作品の完成度を総合的に評価します。7週目に予定している展示観覧は良い展示の開催状況により見学に行く週がずれる場合があります。また、見学の為の交通費は自己負担となります。*写真作家や写真集の紹介等を授業の状況を見ながら隔週程度で行う予定です。
初回持参物	今までの写真作品、作品としてまとめていなくても気に入っている写真(データでも大丈夫です。フォルダにまとめ見せられる形にしてきて下さい)

科目名	絵本工房 A
担当教員	ベップヒロミ
授業目的	「絵本」を制作します。「絵本の物語（仕組み）を考える」「絵・写真・図像・文字表現で内容を展開させる」「製本する」といった工程を学びます。また、様々なタイプの絵本や作家を紹介し、「絵本」に対する知識や理解を深め、制作に活かせるようにします。
<b>授業内容</b>	
1 週	絵本で表現できること／様々な絵本の紹介／絵本をイメージする
2 週	絵本の発想を学ぶ／様々な絵本の紹介／絵コンテを描く
3 週	絵本の物語に学ぶ／内容をどう表現するか／絵本基礎演習
4 週	絵本の構造を学ぶ／内容をどう表現するか／絵本基礎演習
5 週	絵本の表現を学ぶ／内容をどう表現するか／絵本基礎演習
6 週	絵本の設計（絵コンテによる展開）／絵本に関する講義
7 週	絵本制作（下描き）／絵本に関する講義
8 週	絵本制作（下描き）／製本に関する講義
9 週	絵本の制作（着色）／製本
10 週	絵本の制作（着色）／製本
11 週	絵本の表紙を描く／製本
12 週	総評／合評
評価方法 注意事項	制作した絵本の物語（仕組み）・絵・写真・図像・装幀・製本の完成度で総合的に評価します。
初回持参物	筆記用具

科目名	シルクスクリーン・ワークショップ F
担当教員	馬場恵
授業目的	主にシルクスクリーン経験者を対象とした講座。（ただし登録希望者の状況により、初心者も受講できる場合あり）基礎の学習で興味を持った版種の特徴を、それぞれ各自の応用してみたい方法で作品制作に取り込み、多色刷りや異素材へのプリントなど、よりレベルアップしたシルクスクリーンの表現を目指す。
<b>授業内容</b>	
1 週 課題説明とプランニング 課題1：オリジナルポートフォリオのファイル制作・制作出来るファイルのバリエーション説明 2 週 個々のポートフォリオのファイルデザイン決定 3 週 ファイルプリント 4 週 ファイルプリント・成形・完成 5 週～11 週 課題2：2つの以下の課題から自分の挑戦してみたい内容を選択して制作 ①平面媒体の持つ可能性を追究 色の発色、重なる表現効果を生かした多色刷りの作品制作や、版画集や絵本制作など （使用素材：主に紙／制作する媒体：絵本、版画集、ポスター等） ②様々な素材へのプリントの挑戦 オリジナルグッズ制作などでの世界観の表現を追求する （使用素材：布／紙／アクリル板／フィルム類／木製板等） 12 週 講評会	
評価方法 注意事項	ほぼ自由制作が中心の講座なので、各自の制作の目標の設定、モチベーションの維持、作業工程のプランニングと実践を自覚を持って実行すること。工房利用のマナー、お互いの作業への配慮も身につけてほしい。
初回持参物	エプロン、筆記用具、作品ポートフォリオ、本講座で制作したい作品の大まかなプラン。

科目名	銅版画
担当教員	馬場恵・佐藤賀奈子
授業目的	銅版画の基本的な技法を修得します。描画・腐食・刷りなど、様々な行程を体験して表現の幅を広げ、自身の作品制作に応用します。
<b>授業内容</b>	
1 週	講座説明／工房紹介／デモンストレーション
2 週	技法の体験
3 週	”
4 週	作品制作
5 週	”
6 週	作品完成／工房インフォメーション
評価方法 注意事項	期間：後期 9 月 6 日、13 日、20 日、27 日、4 日、11 日( 全て火曜日・全 6 回) 定員：6 名 ◎どなたでも受講可／別途材料費がかかります
初回持参物	エプロン等汚れても良い服装、筆記用具

科目名	絵本工房 B
担当教員	ベップヒロミ
授業目的	「絵本」を多面的に捉え、それを踏まえて「絵本」について再考し、様々なタイプの絵本や本の創作を行います。また、絵本・紙芝居・電子書籍について発表・出版を視野にいたした講義・質疑応答を行います。
<b>授業内容</b>	
1 週	様々な絵本・電子書籍（本の可能性）・製本バリエーション（いろいろな本について学ぶ）
2 週	「本」のしくみを考える（様々な本の紹介）・アーティストブック演習
3 週	”
4 週	「本」の素材を考える・アーティストブック演習
5 週	「本」で何が表現できるか・アーティストブック演習
6 週	”
7 週	アーティストブック設計（最終行程までイメージ）
8 週	アーティストブック制作・製本
9 週	”
10 週	”
11 週	”
12 週	合評
評価方法 注意事項	制作した絵本の物語（仕組み）・絵・写真・図像・装幀・製本の完成度で総合的に評価します。
初回持参物	筆記用具

科目名	クロッキー土曜クラスB
担当教員	甲斐光省
授業目的	人体の持つ構造、ボリューム感、運動感を楽しみながら、いろいろなモデルを描いてゆきます。
<b>授業内容</b>	
1 週	描いてみよう! (男のかたち・女のかたち)
2 週	大きな形をつかまえよう
3 週	プロポーションを意識してみよう
4 週	立ちポーズのなかにある「重心」について
5 週	ムーブマン (動き) について。傾けましょうか? ひねりましょうか?
6 週	40 分ポーズで細部までじっくり観察
7 週	影の形とその濃さ
8 週	筋肉や関節を観察 (ヒトは動く)
9 週	2 人もしくは3 人のモデル (コスチューム) を描いてみる
10 週	和服のヒトを描いてみる
11 週	黒い紙に白いラインで装飾的表現に挑戦
12 週	自分の選択した画材で描いてみる
評価方法 注意事項	初めての人は、試してみてください。モデルから離れて描く、鉛筆を美しく削る、柔らかいグリップで描く、姿勢を良くして描く、資料をよく読んで人体の情報を集める、そして練り消しゴムは小さめに。
初回持参物	土曜クロッキーに限り、紙は教室で購入できます。鉛筆・クリップ・カルトン・カッター・練り消しゴム